

NEWS RELEASE

平成 28 年 5 月 26 日

市光工業株式会社

Ichi-002

第 66 回自動車技術会賞を受賞

市光工業株式会社の“MonoLED”が自動車技術会賞 2016 を受賞！

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：神奈川県伊勢原市、代表取締役社長：オードバディアリ、以下市光工業）の標準 LED 光源ユニット（MonoLED）が、自動車技術会賞 2016 を受賞しました。

トヨタ、アルファードのクリアランスランプや新型プリウスのストップランプやリアフォグランプなどに使われている、市光独自の標準 LED 光源ユニット“MonoLED”が 4 月 11 日の PACE AWARD*（北米 AutomotiveNews 主催）受賞に続き、5 月 26 日、パシフィコ横浜で行われた自動車技術会賞の発表セレモニーにおいて、低コスト、低消費電力、コンパクトで汎用性の高いことが評価され、第 66 回自動車技術会賞を受賞しました。これにより“MonoLED”は日米両国で栄えあるダブル受賞を遂げた事になります。

「自動車技術会賞」は 1951 年に自動車工学および自動車技術の向上発展の奨励を目的に設けられ、自動車技術における多大な貢献・功績を認められた個人に贈られるものです。

今後も市光は、「未来の視界を創造しよう」をスローガンに、先進的な自動車用ランプ技術とミラー技術の開発を進め、クルマ社会の安全に貢献して参ります。

*PACE Award は、Automotive News 社、Ernst & Young 社、Transportation Research Center Inc. が主催し、年間に開発された自動車関連のイノベーションに与えられる賞で、1995 年から 20 年以上続いている、世界最大級の名誉ある賞です

Vision in Motion

ICHIKOH

MonoLED

MonoLED Unit

ソケット型標準LED光源ユニット

新世代光源LEDの汎用性を高める、オールインワン標準型LEDユニット。

すでにさまざまなライティングに活用されているLED光源。光の多様性とデザイン性を高めるとともに、汎用性までも広く展開したい。そう考えて開発されたのが MonoLED Unit。LED光源、LED駆動回路、放熱部品、光源ソケットをコンパクトに一体化した、オールインワン標準型LED光源ユニットです。LED光源と駆動回路をマウントするソケットには樹脂を採用。熱伝導率を高める特殊樹脂が、従来よりも放熱効果を高めています。また、基盤実装タイプと比較して光源が接近していることも、MonoLED Unitの特徴のひとつ。導光レンズやリフレクターなどの組合せて、発光デザインの多様性を実現しています。すでに市場では、TOYOTA アルファードのヘッドランプ内ポジションランプとして、世界で初めて採用されました。この事実こそ、私たちの研究開発に対する熱意と努力の証し。採用が決まっている新型プリウスのリア

コンビネーションランプを始め、今後はテール&ストップランプ用、リアフォグランプ用、ターン用など、さまざまな展開を予定しています。

※MonoLEDは、市光工業の商品呼称です。

An all-in-one standard LED light source that achieves high versatility

MonoLED* unit (socket-type standard LED light source unit)

This is a small standard LED light source unit that integrates an LED light source, an LED drive circuit, a heat dissipation component, and a light source socket at a low price. The unit uses a resin which conducts heat very efficiently and thus also plays a role in dissipating heat. Since MonoLED combines optical components such as light guiding lenses and reflectors, it enables the production of a variety of light-emitting designs. MonoLED has already been selected for use in 6 vehicle models, including use as the rear combination lamp in the new Prius.

* MonoLED is a product name of ICHIKO Industries, Ltd.



Vision in Motion

ICHIKOH

(参考)

<市光工業とは>

市光工業株式会社は、1903年創業以来、自動車用ランプとミラーの純正部品専門メーカーとして、トヨタや日産をはじめとする国内すべての自動車メーカー及び、海外主要自動車メーカーに製品を納入してきました。その歴史は長く、1932年には初代ダットサン（日産）へランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、水銀フリーHIDヘッドランプや次世代の光源として注目されているLEDヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。これらの製品開発により、今日では国内において、自動車用ヘッドランプで12%、リアランプで22%ミラーで10%の大きなシェアを誇っています。（2015年実績）。

なお、今回の“MonoLED”の受賞については、開発者を代表し、弊社先行開発部の中野勝昭が出席受賞しました。

従来の実績

バックミラーと安全性 ■著者：牛田 達雄

後方確認装置 ■著者：堀井 佳勇

前照灯配光評価プログラム（FordのCHES）の応用開発 ■著者：中田 豊

水銀フリーガスディスチャージヘッドランプの開発 ■著者：高田 福夫、松原 昇

自動車ランプにおける光技術とLED※フォグランプの開発 ■著者：古郡正嗣、百々孝男、増田 誠

車載用LEDランプの熱対策技術 ■著者：菊池 和重

グレアフリーハイビームシステム ■著者：バルトムフ オリビエ、箕川 彰一

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問い合わせ先

市光工業株式会社
経営企画室 松田 塚
TEL：0463-96-1442

報道関係からの問い合わせ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL：080-6522-6840

Vision in Motion

ICHIKOH